令和６年 第３回皆野町議会定例会　開会挨拶

おはようございます。開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、令和６年第３回皆野町議会定例会を招集しましたところ、議員全員のご出席をいただき、開会できますこと、心から御礼申し上げます。

議員各位におかれましては、常日頃から地域づくり、まちづくりにご尽力をいただき、敬意と感謝の意を表します。

去る８月１４日には、町の一大イベントである秩父音頭まつりを、５年ぶりに、盛大に開催することができました。これもひとえに町民の皆様、そして議員をはじめ、関係の皆様のご支援・ご協力のおかげと心から感謝を申し上げます。

その流し踊りコンクールにおいて、栄えある第１位埼玉県知事賞に輝いたのは、皆野小学校郷土芸能クラブでした。町の伝統、文化として受け継ぐべき秩父音頭のこれからにつながる明るい話題とうれしく感じております。

さて、私が町長に就任し、間もなく半年が経とうとしております。ここで、これまでに始めた主なチャレンジについて、ご報告したいと思います。

まず、対話として、行政区を訪問してのまちづくり地区懇談会、地元事業者を対象とした企業訪問や事業者アンケート、小・中学校のＰＴＡ、学校運営協議会委員など学校関係者との懇談会などを実施いたしました。これらは、町民の皆様から直接、ご意見・ご提言をいただく場としてだけでなく、これからのまちづくりに向かって

想いを共有する場として大変重要であることから、今後も継続し、施策の企画・立案に生かしてまいりたいと考えております。
　加えて、全職員との個別面談等も実施いたしました。これらも継続して行い、職員等としっかりと意思疎通を図る中で、モチベーションの向上に努め、これからのまちづくりを推進する体制を確かなものにしてまいりたいと思います。

　また、対話と並行し、さまざまな事業、チャレンジを進めております。
　まず、町の面積の７割を占める森林資源の活用と、人と人の交流による循環を目的として、町、ものつくり大学、株式会社ウッディーコイケ、オフィスプラス株式会社の４者による連携協定を締結いたしました。
　すでに、事業の第１弾として、皆野駅前の移住相談センター「よってんべぇみなのんち」を、廃棄予定の木材の端材を活用して、地域おこし協力隊、小・中学生の力も借りて、まちづくりの活動拠点としてリフォームを始めております。
　町内外の多様な関わりから、イノベーションが起こるまちづくりを進めてまいります。
　また、町を元気に、賑やかにすることを目的に、町民が自主的、主体的に開催するイベントを応援する「賑わい創出補助金」の創設、民間主催のこども食堂と連携した子どもの居場所づくりとして「体験事業」の実施、要介護者のゴミ出し支援として、ヘルパーさんが訪問時にゴミを預かり、曜日を問わずゴミ出しできる「専用のゴミボックスの設置」を行いました。
　このほか、地域公共交通を補完するものとして、ウエルシア薬局と連携した移動スーパー事業に着手しており、本年１１月から移動販売車「うえたん号」の運行が始まる予定です。さらに、森林整備

の推進、人材育成を目的に、地域林政アドバイザーとして埼玉県職員ＯＢを採用したほか、地域おこし協力隊インターンの受け入れも進めております。

また、この後ご審議いただきます、皆野町一般会計補正予算（第２号）には、今年度以降の主要プロジェクトとして、地域おこし協力隊制度等を活用した、官民連携による、ＩＴ企業の設立・運営にかかる予算を計上しております。この事業は、地域のデジタル化の促進、働く場の確保等に向けたチャレンジの一つでございます。

今後も、「対話、チャレンジ、幸せの向上」の好循環を作り出せるよう、多様なつながりを構築しながら、積極的に取り組んでまいります。

本定例会の町長提出議案は、付議事件一覧表のとおり、１４議案でございます。

なお、認定第１号から第４号までの各会計の決算書及び付属書類につきましては、吉橋富造代表監査委員、常山知子監査委員から、関係法令に準拠して作成され、正確であり、執行も適切なものと認められるとの審査意見をいただいております。

ご審議を賜り、認定、可決、同意いただきますようお願い申し上げまして、挨拶といたします。